

普通作 植物成長調整剤一覧

倒伏防止などの生育調節は、施肥、水管理や土入れ、踏圧などの基本技術の励行により対応するのが原則である。しかし、生育期の気象条件等によって倒伏が懸念される場合には、補完的な方法として倒伏軽減剤の使用が考えられる。

1 水稲倒伏軽減剤

(1) スマレクト、ロミカ粒剤

(2023年7月1日現在)

目的	植物成長調整剤名	成分 (%)	処理法
倒伏軽減	スマレクト粒剤	パクロブトラゾール (0.60)	湛水散布
倒伏軽減	ロミカ粒剤	ウニコナゾールP (0.040)	湛水散布

【使用上の注意】

- ① たん水状態で散布し、落水やかけ流しはしない。
- ② 使用量を守り、できるだけ均一に散布する。
- ③ 軟弱徒長気味の稲体に使用した場合、その後の気象条件によっては葉先の褐変や黄化を生じることがあるが、収量への悪影響は少ない。
- ④ 後作に野菜や花き等の作付けを行う場合には使用しない。また、本剤使用田の土は、野菜等の育苗土として絶対に使用しない。

(2) ビビフルフロアブル、粉剤

(2023年7月1日現在)

目的	植物成長調整剤名	成分 (%)	処理法
倒伏軽減	ビビフルフロアブル	プロヘキサジノンカルシウム塩 (1.0)	茎葉散布
倒伏軽減	ビビフル粉剤DL	プロヘキサジノンカルシウム塩 (0.12)	散布

【使用上の注意】

- ① フロアブルは均一に散布する。
- ② 過度に短稈化させないために使用時期、使用量を守り重複散布を避ける。
- ③ 周辺作物にかからないように注意する。